

NETZ TOYAMA

Racing

Race Report 2025 / Vol.15



大会名称	GOOD YEAR DREAM CUP 2025
開催日程	2026.1.31
場 所	富士スピードウェイ
参加車両	# 123 NETZ TOYAMA Racing Yaris
ドライバー	山口 竜也 / 水野 大 / 松井 宏太
参加台数	39 台
予選順位	38 位
決勝順位	1 位

毎年恒例となっている富士スピードウェイでの祭典、「GOODYEAR DREAM CUP 2025」に参戦してきました。このレースは「6 時間で最も多くコースを周回したチームが優勝」という、非常にシンプルなルールです。我々はヤリスで参戦しており、ヤリスクラスが新設されてから過去 4 戦中 3 勝を挙げています。昨年まで 2 連覇を達成しており、今年の目標は「クラス 3 連覇」です。

ドライバーは、社員ドライバーの山口に加え、強力な助っ人である水野選手、松井選手の 3 名体制。作戦は昨年同様、給油 3 回のピット戦略で挑みました。

予選では燃費を意識しすぎた結果、周囲のトラフィックに捕まってしまう、39 台中 38 位という過去最低の順位に沈んでしまいます。

迎えた決勝。ローリングスタートでは「コントロールラインまで追い越し禁止」というルールがありますが、後方に位置しすぎた影響で、前方車両のスタート遅れが連鎖。

スタート直後でトップと約 50 秒もの大差をつけられる苦しい展開となりました。

さらに、燃料メーターが「満タン」のまま動かなくなる故障も発生。チーム内には不穏な空気が流れます。しかし、ここからが本領発揮です。これまで蓄積してきたデータをフル活用し、冷静に順位を上げていきます。レース後半、3 時間が経過した時点ではクラス 4 位まで浮上。

途中、セーフティカー（SC）が導入される場面もありましたが、即座にピットインの判断を下すなど、タイムロスを徹底的に排除。戦略がピタリとはまり、

残り 1 時間の 5 時間経過時には、ついにクラス首位に躍り出ました。

勝利が見えてきた終盤、今度はミッショントラブルが発生。2 速が使えないという致命的な状況に陥りますが、ドライバーたちの巧みなマシンコントロールにより、2 速を封印した走りでこの危機を回避。

最後までトップを守り抜き、無事に 1 位でチェッカーを受けました。

この結果、目標であった「ヤリスクラス 3 連覇」を達成することができました！

2025 年度のレース活動は、最高の形で幕を閉じることができました。

来年度も変わらず挑戦を続けてまいりますので、引き続き熱い応援をよろしくお願いいたします。

1 年間、本当にありがとうございました！